

資源ごみ処理施設が稼働

4月18日、北薩広域行政事務組合リサイクルセンター「エコリア北薩」が落成しました。

この施設は、敷地2万3321平方メートル、延べ床面積3703平方メートルで、1日の処理能力10トンの不燃物処理施設と処理能力3トンの資源化処理施設、ストックヤード棟で構成されています。

資源ごみをきちんと分別しよう



↑ペットボトルはふたをとり、ラベルをはがして、すぐ



↑缶類はアルミとスチールに分け、すぐ燃えないごみとして出している人がある

資源を循環させ地球を守ろう

地球環境を守るため、地球温暖化物質等の排出抑制や資源循環型社会の構築が急がれています。

とりわけ、ごみ問題は廃棄物の発生を抑制し、適正に処理、循環資源のリサイクルを推進しています。

本町の燃えるごみは、阿久根市の環境センターで、適切に処理。資源ごみは、出水市野田町のエコリア北薩で、破砕機や手選別等により円滑にリサイクルしています。

ごみの焼却による温室効果ガスの増加をできるだけ防ぐため、家庭ごみの分け方、出し方のルールを守り、循環型社会を確立しましょう。



エコリア北薩のプラットホーム。資源ごみはここで処理機へ投入される

Interview

ルールを知り、意識の改革を



蔵之元自治公民館長
田中順一郎さん

集落のごみ出しの状況は大分良くなってきましたよ。資源ごみの収集日には、各収集所で1〜3人ずつ奉仕で立ち会いをしてもらっています。これは地区民への協力だけでなく、「こんなふうに出さないといけない」というルールをみんなが体験しているのです。安易な考えがあるといけません。きちっとしたルールを知り、意識を改革することが大切です。

エコライフへ一歩を踏み出そう

私たちの生活がまわりの環境や私たち自身に影響を及ぼしている現状を認識し、少しずつでも何らかの行動を起こしていけるような生活スタイルを「エコライフ」と呼んでいます。

具体的な取り組み自体は、その人の状況等によって、他人と比較すると大きかったり小さかったり